



2024年10月9日

## 大正健康ナビ、10/9 新着情報

### 「男性の薄毛・抜け毛(AGA/男性型脱毛症/壮年性脱毛症)」を公開！



大正製薬株式会社が運用する健康情報サイト「大正健康ナビ (<https://www.taisho-kenko.com>)」では、10月9日に「男性の薄毛・抜け毛 (AGA/男性型脱毛症/壮年性脱毛症)」を新着公開しました。近年、AGA のメカニズムの解明と治療法の研究が進み、エビデンス (科学的根拠) のある治療の選択肢が増えてきました。そのため様々な情報があふれ、かえって迷ってしまうことがあります。AGA を治療する際は正しい知識をもち、ご自身が納得できる治療法や医薬品を選ぶことが大切です。

今回は、北里大学医学部皮膚科学主任教授 天羽 康之先生に AGA の原因、症状、治療・対処法や予防法などを詳しくお伺いしました。

ぜひこの機会に正しい知識をもち、後悔しない選択をしていただきたいと思います。

## AGA (エージーエー) とは

「AGA (エージーエー)」は「androgenetic (男性ホルモン性の) alopecia (脱毛症)」の略で、日本では、「男性型脱毛症」や「壮年性脱毛症」と呼ばれます。

髪は加齢により自然に減っていくものですが、男性の場合、早ければ思春期以降、徐々に額の生え際が後退し始めたり、頭頂部が薄くなったりする AGA 特有の脱毛が見られます。

AGA は、男性ホルモンとそのレセプター (受容体) の働きが関係する脱毛で、遺伝の影響が大きい生理的な現象ですが、見た目の印象を大きく左右して QOL (生活の質) を低下させてしまうことから、日本人の男性の約 3 人に 1 人が悩んでいる\*といわれています。

\* 日本皮膚科学会「男性型および女性型脱毛症診療ガイドライン」(2017年版) より

AGA は進行性で、治療薬はいずれも継続することで効果を発揮し続けるため、「長時間、体に使う医薬品である」という意識で、医薬品の質を見極める目をもつことが重要です。

また、髪は爪や肌と同じく「健康のバロメーター」といわれます。なぜなら私たちが取り込んだ栄養は、脳や内臓など命にかかわる臓器に優先的に使用されるため、栄養状態が悪くなると、真っ先に影響が出てしまう場所だからです。

AGA は、遺伝や加齢の影響が避けられないとしても、生活習慣を整えて体を健康にし、体の隅々まで血流と栄養を巡らせておくことが、進行を予防するための大切なポイントになります。

## 10月9日公開「男性の薄毛・抜け毛（AGA/男性型脱毛症/壮年性脱毛症）」

### 専門医によるヘルスケアアドバイス

### 「男性の薄毛・抜け毛（AGA/男性型脱毛症/壮年性脱毛症）」

<https://www.taisho-kenko.com/disease/636/>

<目次>

1. 男性の薄毛・抜け毛（AGA/男性型脱毛症/壮年性脱毛症）の原因
  - ・ AGA を知るために、髪構造とヘアサイクルを知っておこう
  - ・ AGA ではヘアサイクルが速くなり、毛包のミニチュア化が起きる
  - ・ 男性ホルモンのテストステロンが毛の成長期を短くする
  - ・ 感染症や生活習慣も AGA に影響する
2. 男性の薄毛・抜け毛（AGA/男性型脱毛症/壮年性脱毛症）の症状
  - ・ AGA の進行パターンには特徴がある
3. 男性の薄毛・抜け毛（AGA/男性型脱毛症/壮年性脱毛症）の治療・対処法
  - ・ AGA には様々な治療法や対処法がある
4. 男性の薄毛・抜け毛（AGA/男性型脱毛症/壮年性脱毛症）の予防法
  - ・ AGA 予防のための生活習慣改善のポイント
  - ・ 頭皮マッサージで、頭皮の血行を促進しよう
  - ・ あなた自身が納得して、AGA に向き合おう

## 監修者プロフィール

北里大学医学部皮膚科学主任教授

天羽 康之（あもう・やすゆき）先生

1996年北里大学医学部卒業。同大学医学部皮膚科学教室助手、カリフォルニア大学サンディエゴ校医学部外科学教室、北里大学医学部皮膚科学教室診療講師、同大学専任講師などを経て2014年より現職。日本皮膚科学会認定皮膚科専門医・指導医、毛髪科学研究会世話人など。

大正健康ナビ: <https://www.taisho-kenko.com>

大正健康ナビでは、生活習慣病などのつらい症状、人には言いづらい悩みの原因、症状、改善や予防法をご紹介します。また、気になる症状をすぐにチェックできるコンテンツもご用意。いろいろな疑問にも専門医が分かりやすくお答えします。

## 大正製薬について

当社は「人々の病気を予防し、健康を増進させたい。」こうした思いから大正元年に創業しました。以来、100年以上にわたって生活者の皆さまの健康で豊かな暮らしの実現に貢献するために、病気の予防や治療、健康によりそうべく、医薬品から食品まで幅広い製品ラインアップで、皆さまのさまざまなニーズにお応えしてまいりました。昨今、健康意識が高まる生活者の皆さまのニーズが多様化しており、このような変化に柔軟に対応しながら高品質な製品とサービスを提供し続けることで、皆さまの健康に寄り添ってまいります。

### <本件に関する報道機関からのお問い合わせ先>

大正製薬株式会社 メディア推進部 03-3985-1153

白鞘 敬文 t-shirasaya@taisho.co.jp

梶田 寛文 h-kajita@taisho.co.jp